

# 平成18年度第4回仙台市廃棄物対策審議会 議事録

平成18年9月6日（水）

15:00～17:10

仙台市議会第一委員会室

## I 次 第

1. 開 会

2. 局長挨拶

3. 議事

(1) ごみ処理費用の負担のあり方に係る中間とりまとめ(案)について

(2) 仙台市産業廃棄物処理指導方針(案)について

(3) その他

4. 閉 会

II 出席委員数 出席 15名

欠席 5名（阿部委員，荒井委員，崔委員，野田委員，紅邑委員）

## III 議事

議長（長谷川 会長）	議事に入る。議事録の署名を末永委員にお願いする。 次第にしたがって、議事を進めたい。まず「(1) ごみ処理費用の負担のあり方に係る中間とりまとめ(案)について」であるが、資料1は私が平賀副会長の意見を伺って内容を整理したもので、資料3は手数料等の設定について市でまとめたものである。 今回はこの審議会でも中間とりまとめをするという事になっているので、よろしく願いたい。 それでは資料について事務局から説明を。
総務課長	(資料1, 3について説明)
議長（長谷川 会長）	ただ今の内容はかなり多岐に渡っているので、三つぐらいに分けて審議していく。最初は資料1の前文と目的について、ご意見をいただきたい。
末永委員	缶・びん・ペットボトルの取扱いについては、発生抑制の観点からは必要だが、リサイクル率の低下という課題が考えられるために引き続き検討していくとの事。しかし、実際は施設・設備や運営上の理由が大きいというのが実情ではないのか。
議長（長谷川 会長）	表現が判りにくいのかもしれないが、その事について事務局から意見はあるか。
総務課長	リサイクル率の低下が危惧される以外にも、実際の作業要員あるいは設備を新たに用意する必要がある事が理由として挙げられる。現在缶・びん・ペットボトルの選別施設は、プラスチックの箱で収集したものを処理するという前提で作られているが、仮に袋収集となった場合、その保管場所であるとか、袋を破く装置を設けるなど、新たな体制を整備しなければならない。 また、他都市での事例として、袋収集の過程でびんが割れると、他の資源物のリサイクルにも支障が出てくる。検討を継続する理由は一つではないが、今回は中間とりまとめなので、市民意見をまず聞いたうえで、審議会として最終的な判断をしていただくという前提で、このような記載になっている。
末永委員	理由としてリサイクル率の低下などと資料には記載されているが、実質的には何か新たな経費、投資が必要になるとか、そういう部分が大きいのではないかと感じた。

議長（長谷川会長）	初めて見る人が正確に理解できない事もあるのではというような指摘なので、後ほど私と副会長と事務局と相談し、ただ今の内容を踏まえたものとして整理する。各委員にはその後でご意見を伺うという事で進めたい。
鈴木昇委員	大きな割合を占めるであろう古紙の取扱いについて、前書き並びに対象範囲には記載されていないが、どのように考えればよいか。
局長	古紙など紙類のリサイクルが、有料化と併せて実施する施策の中で大きな比重を占める施策である事は認識しているが、まず新しい制度骨格をとりまとめて、それについて意見を伺う考えでいるので、このような構成になっている。 資料1の4ページ、「有料化導入に併せて実施すべき施策」では、古紙類の定期回収事業の重要性を例示しており、この部分について、これから具体的な中身を詰めていき、最終とりまとめの段階で、詳しく具体的に書いていくというふうにしたい。
議長（長谷川会長）	ほかに何かあるか。
海野委員	対象範囲の「缶・びん・ペットボトル等」の取扱いに関する記述の最後に、「市民意見を踏まえ、引き続き検討していく」とあるが、前文に同様の記載があり、これは全体にかかっていると思う。ここだけ特別に書くと、これ以外は市民意見を踏まえないと誤解されるおそれがある。
議長（長谷川会長）	ご指摘の部分はもっと分かりやすい表現で、整合性が取れるような形でまとめる事としたい。
局長	これまでの審議会の経過で、一番多くの意見をいただいたのが、缶・びん・ペットボトルの取扱いと、小さな袋をどこまで用意するかという事であった。ここでは「引き続き検討する」と記載している訳だが、同じような表現であるために今のような受け止め方になったのだと思うので、この2箇所を強調したいという部分は残し、表現を工夫するのがよろしいかと思うがいかがか。
海野委員	この部分について市民の意見を聞きたいのであれば、もう少し具体的な議論、例えばメリットとデメリットをそれぞれ提示し、どちらを取るのかというような、市民が反応しやすい表現に工夫した方がいいと思う。
議長（長谷川会長）	これは今まで審議会での議論の結果、このような記述になっている。重複して表現すると誤解を与えかねないという事もあるが、これについて意見はあるか。
平賀副会長	やはり前文できっちり述べているので、それだけにしたほうが良い。
岡本委員	缶・びん・ペットボトルと袋の大きさについては、最終とりまとめの後も引き続き時間をかけて検討しようという事ではないかと私は思ったのだが、もしそうであれば、審議会として判断する時期に違いのある事が判ればいいのかと思う。
議長（長谷川会長）	判断の時期に時間差があるかという事だが、缶・びん・ペットボトル等については、末永委員からの意見のようにまだ課題があるので、今決めずにもう少し時間をかけて検討しようという事だ。 実際に有料化する際に決まるかもしれないし、場合によってはその先に伸びるかもしれないが、それはまだ決めていない。これからも継続して検討するし、市民意見募集の

	<p>結果も必要に応じて反映させる。時間差ができる事まで考えていなかったが、表現を重複させる事が本当に必要かとも思うので、誤解されないような記述にすればいい。「市民意見を踏まえ」という表現の重複は避けるということで進める事にしたい。</p>
矢吹委員	<p>私たちが目指すものを再確認したいが、資料2の「検討の経緯」における「国の基本方針」では、地方公共団体の役割について、「経済的インセンティブを活用した一般廃棄物の排出抑制や再生利用の推進」が先で、その後「排出量に応じた負担の公平化及び住民意識の改革を進めるため、一般廃棄物処理の有料化の推進を図るべきである」と来る。</p> <p>順番の問題になるが、ごみ有料化だけが先行して議論されている気がする。実際の目的はごみの発生抑制ではないのか。そこをもっと強調すべきと思うので、目的の1と2を逆転させるのはどうか。そうすることで、市民の協力、同意を得やすくなると思う。</p>
議長（長谷川会長）	<p>目的の順番については事務局とも議論してきた結果、今の形で落ち着いた。確かに矢吹委員が言うように、ごみを減らすために何をすべきか、そのために有料化したほうがいだろうという考え方のほうが市民の意見として分かり易い。行政からこの意見について何かあるか。</p>
局長	<p>市が作った素案の段階からこの順番になっている。ごみの減量・リサイクルという大切な目標があるわけだが、一般市民にとっては、やはり有料化という現実があり、そこから逃げて市民の皆様説明していくわけにはいかないと考えている。審議会として順番を変えるという事は審議会の決定であり、尊重すべきもの。最終的な仙台市としての決定がどうなるかとはまた別であると認識している。</p>
議長（長谷川会長）	<p>局長が言うように、審議会としての考え方からすれば、矢吹委員の意見のような事があるので、目的の順番を変更する。これに対して意見はあるか。</p>
庄司委員	<p>減量化の目的をまず謳ったほうが良いと思うし、海野委員が言ったように、メリット・デメリットといったものも出したほうが良いと思う。また、前文には難しいだろうが、収入の用途の一部でも市民向けに活用するんだという事を、何かの形で入れられないものか。今は抽象的な書き方なので、もう少し具体的に書けば、市民も理解しやすい。</p>
議長（長谷川会長）	<p>今はまず前文と目的についての議論をしているので、それはまた後ほど。</p> <p>庄司委員の意見でもあったように、目的で1と2の順番を逆にするという提案については、そのようにするという事で。ほかに意見は。</p>
深野委員	<p>先日（9月6日）エコフェスタ2006に出展して、有料化に関するアンケートを取ったところ、78人ほどから回答があった。有料化については90パーセント近くの人が知っていたが、その人たちに賛成か反対かを尋ねると、どちらとも言えない、という回答が結構あった。</p> <p>というのは、エコフェスタとかに来た人たちの中では、有料化についてとは別にもっと言いたい事があるのではないかと思う。処理費用がかかり過ぎるから仕方がない、とは言っている、ごみ減量の取り組みを先に示すべきではないのかと思っているように感じた。まずごみを減量するための姿勢を理解してもらった方がいいのではないか。</p>
議長（長谷川会長）	<p>目的と対象範囲については意見が出尽くしたようなので、次は手数料の設定について伺いたい。資料3-1の①は、袋の製造・流通経費を除いて、市の収入はどうなるかを示している。今まで一番小さい袋は容量が15リットルであったところを、さらに小さい5リットルの袋の場合はどうなるかであるが、他の大きさの袋と同じ比率で試算するとマイナスになるという事。それに対して3-1の②では、袋の製造・流通経費を除い</p>

	<p>た手数料が処理費用に占める割合を同一とした場合はどうなるかを示している。</p> <p>これはごみの減量という事も踏まえて検討するため、ひとつの例として資料を出してある。設定の方法としては、この①と②の中間、あるいは①に近いというような整理になると思うが、まずそのあたりについて意見を伺いたい。</p> <p>前回の審議会で深野委員から、5リットルの袋を作って市の収入がマイナスになるとしても、減量化が達成できればいいのではないかとというような意見があったが、資料3を見た感想から最初に伺いたい。</p>
深野委員	<p>先ほど話したエコフェスタのアンケートをしていた時に、日頃から一生懸命努力してごみを減らしているような人はこれからどうなるか、ごみの減量に努力している人に対しては、それに見合った待遇にすべきではないかと話す人たちが見受けられた。そういう市民感情を切り捨てるべきではないと感じた。</p>
橋委員	<p>前回の審議会で、私は今以上に小さいゴミ袋を作った場合、風に飛ばされて集積所の周りが汚れたりしないかと心配した。これまでは45リットルの大きい袋が一番山出回るかと思っていたが、資料によれば、日野市や函館市で出回っているのは20・30リットルの袋が多いという事で、有料化の実施で市民の意識が変わるとすると、45リットルでは大きすぎるという事になるのではないかと。</p> <p>また、一人暮らしの高齢者で配食サービスを利用している場合、ごみの排出量は非常に少なくなるかと思われる。小さな袋は思った以上に活用されるのではないかと。</p>
議長（長谷川会長）	<p>手数料の面から考えれば、最初に市が試算した15リットルの袋が最小という案が概ね妥当と感じるが、5リットルの袋についてはほかの事も考慮する必要が出てくる。市の収入がゼロになる場合があることも踏まえて、どういう案を出すかについて少し議論をしていただきたい。</p> <p>先ほど実際に他都市で使用している5リットルの袋を見ていただいたが。</p>
山岡委員	<p>実際に5リットルの袋を見ると、やはり小さいと思った。例えば一人暮らしの人でも、あの小さな袋で済むのかなど。数字だけのイメージでは、5リットルという選択肢もあるかと思っていたが、実際にはあの大きさで済むだろうか。収集の効率を考えても、かえって非常に無駄になるのではないかと思う。</p> <p>私も集積所で他の人がごみを出すところを見ているが、例えば小さなスーパーの袋で、そのまま出しているところは見た事がない。実際には何個かまとめて、大きな袋に入れている。小さすぎる袋では効率が悪いというのが私の意見。</p>
松坂委員	<p>5リットルの袋は思った以上に小さくて、あれでは本当にいくらかも物を入れられない。二人暮らしの自宅で一ヶ月どれくらい家庭ごみが出るか、リサイクルを徹底して試してみたところ、20リットルの袋であれば、大体週に一回、さらに我慢すれば、もう一週ごみ出しを延ばす事も可能かというくらいであった。余程物を買わない人は別だとしても、普通の生活をしていけば、大体そのぐらいは出る。二人暮らしでは5リットルの袋は小さすぎると感じる。</p> <p>それから、3-1の①を見ても判るとおり、収集経費が賄えない事を踏まえると、この小さな袋の必要性が疑問視される。その点から言えば、中間とりまとめとしては、当面は大・中・小の三種類を審議会として提案するという事を一つの案として、あとは市民の意見を聞きながら検討するという事ではどうか。</p>
岡本委員	<p>現在は指定袋の種類が大・中・小しかなくて、コンビニの袋で出してもいいというのが今の市のルールではないのか。その関連で、以前市が排出状況の調査をした事があるという話を聞いたが、実際にコンビニの袋でどのくらいごみが出されているのか、もし判るのであれば、それを一つの判断にしてもいいのではないかと。実際に仙台市では4割</p>

	<p>程度が一人暮らしをしていて、排出状況とすぐ関連付けられるかどうかは判らないが、コンビニの袋を使う人が非常に多いのであれば、そういう配慮も必要なかとも思う。</p>
次長	<p>平成 15 年に市民への意識アンケートをしたところ、レジ袋を使用しているのはそのうち約 19 パーセントであった。</p>
局長	<p>仙台市指定のマークが付いているスーパー等のレジ袋は家庭ごみの排出に使用できるが、コンビニ袋は指定していない。現実的に出している人はいるかもしれないが。</p>
矢吹委員	<p>効率や手数料収入というのも二次的にあると思うが、発生抑制に主眼を置いて考えるべきと思う。</p> <p>指定袋の選択肢は出来るだけ多い方がいい。一人暮らしで、本当に少ししかごみを出さない人のためにも、いろいろ選択が出来る余地を残すべきではないか。少しずつごみを減らすという発生抑制に回っていくような施策であってほしい。</p>
議長（長谷川会長）	<p>資料にあるように 30 リットルから 5 リットルまでの袋を設定したのは、あくまで例としてであって、審議会でどう決めるかは自由だ。矢吹委員は全部設定すべきというような意見だ。</p>
海野委員	<p>先ほどレジ袋を使用している人は 19 パーセントという数字が出たが、回答しない人に一人暮らしの人が多と思うので、実際はそれより多いのではないか。</p> <p>それとは別に、矢吹委員の意見で選択肢が多いというのは、私も基本的に賛成だが、それに伴うデメリットもあると思う。3～4種類程度が適当なところかと思う。</p> <p>手数料水準の話に戻るが、「費用負担の適正化」という目的には、市の財政が厳しいので、少しでも財政の補助にしたいという側面を含んでいる。手数料については行政の側と市民の側で、適当なところで折り合いをつけるよりほか無いと思う。部分的にマイナスが出たとしても、全体でペイすればいいと考えるべきではないか。</p> <p>というのは、有料化への反対意見の一つとして、税の二重取りという議論がある。そうではないと主張するために、減量をした人にはご褒美をあげる事をやらなければ、正確な反論にはならない。どのようにペイバックするかは現実的に非常に難しいと思うが、よく減量した人には、市の財政という側面から見るとマイナスであってもいいような単価の袋を作る事が考える方策の一つなのではないか。</p> <p>もう一つ、袋の大きさに対する料金が逡増的であってはならない。逡増的であると、一見小さい袋のほうに誘導するように見えるが、実際は 30 リットルで出していたところを 15 リットルの袋二つで出すという事になってしまう。資料 3-1 の②の提案も一つの考え方だと思うが、一部の袋に対しては市が損するぐらいの考え方でもいいのではないか。</p>
庄司委員	<p>実際に 5 リットルの袋を見ると、あまりにも小さくて、私もどんなものかな、と感じた。小さい袋を設定するのは、ごみの減量の面から言っても賛成だが、いくらかでも財政補填につなげたいという狙いもあると思うので、小さすぎる袋を作るのはどうかと思う。やはり適正な大きさというのを基準として、そこから多少選択肢を設定するというのがいいのではないか。</p>
議長（長谷川会長）	<p>5 リットルの袋を作るべきという意見と、それでは小さすぎるという意見とに分かれているようだ。</p> <p>5 リットルの袋を設定した場合、海野委員からは、ごみ減量に市民が協力したことに対する報酬という意味で、赤字が出てもいいのではないかという意見が出た。この審議会で有料化の検討を始めた時から、ごみの減量が一つの目的とされてきたところだ。</p> <p>もう一つは、橋委員が言ったように、袋が小さいと集積所から飛んでいたり、作業</p>

<p>松坂委員</p>	<p>をする側から見ると、収集が非常に難しくなるなどの問題が出てくる。ほかの委員からも5リットルでは小さすぎるとの意見が出された。</p> <p>小さい袋をどの程度まで設定するかについては、ここでは特に結論付けず、今後募集する市民意見を踏まえた後でもいいと思う。今は中間とりまとめの話をしているので、小さい袋にはメリット・デメリットがあるという事を明示して意見募集する事も必要と思う。この件で皆さんの意見を伺いたいが。</p> <p>5リットルの袋では、手数料がマイナスになるとはつきり出ている。ごみ処理費用があまりにもかかるから、その一部の負担を市民の皆さんにお願いしなすと言っておきながら、袋の製造・流通経費で6円かかっているものを5円で販売して、市のほうが赤字になるのは問題ではないのか。そういった面を考えると、やはり5リットルの袋を設定するのは考えものだ。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>市の収入については資料3-1の①にもあるとおり、5リットルの袋では、これまで仙台市で考えていた案によればマイナスになる。ある程度市民に負担してもらうという事であれば、3-1の②のような案もあり、その場合は5リットルの袋一枚で10円くらいになる。</p> <p>5リットルの袋でも赤字にならないようにするなら、5円ではなく、7円、あるいは8円という案もあり得るので、今は小さな袋を採用することによって、市民にどのようなメリットがあるかも含めて考えるのがいいのではないかと。それが決まったら、料金を検討するという事でもいいかと思うが、何か意見があれば。</p>
<p>豊澤委員</p>	<p>小さい袋で出すという事については、高齢の方には人気が出るかも知れないが、やはり財政的な事を考えた場合、マイナスになるのはどうか。単価を割高にすればいいのかもしれないが、小さすぎる袋というのは、多少ニーズがあったとしても、問題があるかなと思う。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>5リットルの袋については、いろいろな意見があるという事を中間とりまとめの中に加える事にして、45リットルよりも小さい袋のサイズは今まで審議された30リットル、15リットルぐらいまでとするか、それとも、矢吹委員が言うように、30リットルから5リットルまで全部出すか、その事についてはどうか。</p>
<p>山岡委員</p>	<p>ごみの発生抑制が大きな課題ではあるが、コストのかかるものを提案する事はどうなのかと思う。</p> <p>それから、ごみの収集が毎日あるわけではないので、いくら一人暮らしでも、あの5リットル袋の大きさで間に合うのかとは思う。どのくらいの大きさが適正かについては、実際に集積所を見て、ごみ出している様子を確認したほうが参考になる。</p> <p>私としては5リットルでは小さすぎるので、結局買っても無駄になるのではないかと。ちょっとしたごみで一杯になるので、結局収集日にはもっと大きい袋にまとめて入れて出すという事になるのではないかと。</p> <p>袋の種類が多いのはいい事で、またここで全て確定させる話ではないだろうから、まず市民の意見を聞くという事でよい。その際に5リットルの袋にどのくらい入るかをイメージしていただければ、自ずから結論は出るのではないかと。</p>
<p>鈴木泰爾委員</p>	<p>収集の間隔なども考慮して、行政は5リットルのような小さい袋を提案していないのだと思う。</p> <p>それから、あまりに些事に渡ってここで議論する必要があるのかどうか。市民にも知恵があり、一人暮らしの人でも大家族でも、袋の大きさをやりくりするようになって、最小の負担で最大の効果を上げるような方法を見出す人が増えてくると思うので、そういう市民の知恵に委ねてもいいのではないかと。</p>

	<p>それとも一つ、資料3-3のグラフで見ると、政令市は周辺のエリアの中から単身で就学・就職する人が多いだろうから、他の大都市の情報を集めて参考にすれば、単身生活者のごみの排出実態がある程度判るのでないか。</p> <p>ごみの出し方に必要以上に介入せず、使う側の知恵に任せる事も我々の役目であり、議論を一步前に進ませると思うが。</p>
平賀副会長	<p>私もそう考える。資料にもあるとおり、5リットルというのは、袋の製造・流通経費があるため赤字になり、また非常に手間隙かかるという事であるので、大きさを単純比例という現在の手数料の基本的考えを見直すことも含め、是非検討していただきたい。</p>
議長（長谷川会長）	<p>後半はどちらかという、5リットルの袋は小さすぎるという意見がかなり出てきた。5リットルの袋も必要という意見の方に発言していただきたいが。</p>
矢吹委員	<p>選択肢が多いほうがいいという事で、全部作れという趣旨ではなかった。そこだけは訂正しておくが、我々は自分たちの暮らしを前提として議論しているわけで、本当にお年寄り一人で暮らしている実態を知らない。議論が空回りするのではないか。</p> <p>実際に市民の意見を聞くチャンスがあるのだから、そのうえでどのサイズを作るか決めればよい。種類がたくさんありすぎても大変かと思うので、4種類ほど、大・中・小に加えてもう一つくらいで決めるのがいいと思う。</p>
海野委員	<p>今の意見に基本的に賛成だが、本当に一人暮らしで慎ましやかに生活をしている人はなかなか意見を出さないと思うので、実際に収集する現場で、出されている袋の大きさやレジ袋がどの程度出ているかも含めてチェックするのがいいのではないか。</p>
局長	<p>これまでの意見を踏まえ、中間とりまとめにおいては、現在販売されている45・30・15リットルの3種類を基本として意見を募集する事としたい。さらに小さい袋をどうするかについては流動的に考えて、もっとあとで最終的な判断をしたいと思う。</p> <p>それまでに市民意見だけではなく、現場での排出実態や、既に有料化している他都市の排出実態なども調査し、そのうえで最終的に判断するための資料を作成していきたい。</p>
議長（長谷川会長）	<p>市民意見を募集すれば、市民からも5リットルサイズを作れという意見が出てくるかもしれない。しかし、ここで審議した内容が市民に伝わらないと、同じような議論の繰り返しになるので、様々な面から考慮した結果、現状の15リットルを最小とする事を中間とりまとめとして考えたい。あとは市民の意見を考慮しつつ、それより小さくなるかどうかはまた検討すればいいと思うが、そういう方向ではどうか。異論が無ければ、今までの意見を、事務局及び副会長とも相談のうえでまとめて、その後に皆さんから意見をいただくという事とする。</p> <p>ただ、単価について、もし5リットルを作った場合、マイナスになっていいかどうか、マイナスにしないならどのくらいの設定がいいのか、議論をしていただきたいが。</p>
局長	<p>中間とりまとめの段階では、現状どおり45、30、15として、ご意見を伺っていくと。最終的なところで、先ほどの判断材料を用意して、より小さいサイズをどうするか、その料金をどうするかという事を再度ご審議いただくという事で進めたいが。</p>
議長（長谷川会長）	<p>市民意見を募集する際は、資料3-1の①を出すのだろうが、そうすると5リットルは削除するのか。</p>
局長	<p>資料3-1は審議会のための資料であり、これをそのまま意見募集には用いない。資料1の3ページにある空欄を埋める形で意見を伺えばいいと考える。</p>

議長（長谷川会長）	意見募集の結果、5リットルサイズを作れという意見がかなり多かった場合はどうするのが気になる。それを完全に無視すると、何のための意見募集なのかとなる。
鈴木泰爾委員	従来の3種類でこれからもずっと続けていくわけではないだろうから、まず現状で意見を伺い、将来的に支障が出てきた時、実態に乖離するものがあるとすれば、それはそこで見直すなど、そのくらいの幅をもたせてもいいのではないか。
議長（長谷川会長）	<p>そういう意味ではなく、5リットルと最初に聞くと良さそうなイメージがあるが、突き詰めていくとメリットとデメリットがある。それを予め市民に知らせずに意見を募集してしまうと、5リットルの袋がいいという意見が多数出るかもしれないということだ。</p> <p>市民が袋の特性を十分に理解せずに意見を出した場合、話がまた戻ってしまう。5リットルサイズにはこういう事情があるという事を、中間とりまとめに入れたほうが、意見を出す側も判断しやすいだろうという事で先ほどから議論してきた。その際に手数料収入がどうなるかも示しておかなくていいのかと思うが。</p>
鈴木泰爾委員	私は個人的に意見募集というやり方は、ある部分において信頼性に欠ける場合もあるのではないかと考えている。概ね正しいであろうが、ごく一部の少数意見が一人歩きし、それに振り回される事が危惧されるので。それを回避するために、この審議会があると思っている。
議長（長谷川会長）	5リットルの袋を入れたほうがいいという意見が審議会の委員からも出されている。同様に市民からもそういう意見が出てくるとすれば、それなりの対応をしなければならぬわけだから、情報提供という意味でも、その内容を示した方がいいというのが私の考え。料金についても、5リットルの袋を作った場合、この審議会としては収入をゼロにせず、ある程度負担をいただく事も必要ではないか。何か意見をいただければ。
深野委員	私も実際に見て5リットルの袋は随分小さいなと思った。市民の皆さんも実際に見なければイメージできないと思う。今現在の3つよりももっと小さい袋が必要かという質問をすることで、その際も赤字にならない最低の金額は設定しないと、かえって財政的な負担をかけてしまう。収入がマイナスになってまで小さな袋が必要かと聞くのがいいのではないか。
局長	資料1の3ページ、指定袋の種類というところで、15リットル袋よりも小さな袋に関しては3行ほど記載しているが、この部分をもっと詳しく、経費の問題やメリットと課題などを書き込むという事でまず調整してみたい。
議長（長谷川会長）	<p>サイズにこだわらず、小さい袋には様々な課題がある事を中間とりまとめで示して、市民意見も踏まえて審議会で今後も検討していくという事でまとめたい。内容は事務局と会長・副会長で再度話し合っ、それが出来たら皆さんにお見せして意見をいただくという事で進めたいと思う。</p> <p>最後に「4 有料化導入に併せて実施すべき施策」について、意見をお願いしたい。</p>
庄司委員	手数料の用途について、各種施策の充実とか、目に見える形での活用を検討すると記載されているが、これだけだと少し判りにくいので、より具体的に、市民にとってメリットになるものも、明確に出していったほういいのではないか。
議長（長谷川会長）	それは以前から議論されており、紙の収集や分別をより積極的に進めるなどの具体的な話もあった。ただ、もう少し具体的に記載する事も必要かと思う。



局長	<p>基本的に手数料は、現在ごみ処理に要している 79 億円に充当される事になるが、実際にどのくらいの収入となるかといえば、15 億円程度だと思う。</p> <p>その意味では処理費用の 79 億円に全部吸収される事になるが、新たなごみの発生・排出抑制施策の充実、特に紙類の定期回収事業などにも使っていきたいと考えている。具体的施策については、今後収入と経費などを正確に把握して、収入のうちどの程度そういうところに回せるかも担当部局と十分協議して、さらにはそれをどう使うかについて意見を伺いながら決めていきたいが、現時点ではこの表現でお願いしたい。</p>
庄司委員	<p>例えば町内会を始めとして集積所の管理をしている方々に対する補助など、市民の協力が得られるような施策を考えてほしいと思う。</p>
橋委員	<p>先ほどの意見にもあった「市民の知恵」で、買いたくないものを買わされると思う人たちがたくさん出てくると思うので、大型店も含めた販売する側で、ごみになるものを買わなくても済むような、そういうシステムの構築が必要になってくると思う。例えば、昔のように豆腐を買う時には鍋を持参したような、そういう形がもう一度復活してもいいのではないかと思う。</p>
議長（長谷川会長）	<p>発生量抑制のために行政として何をするかという事を強調すれば、私は「(2) 手数料の使途」の記載は要らないのかなとも思うがどうか。</p>
岡本委員	<p>私は逆に手数料収入の使途を謳うべきと考える。ルール上一般財源に入るのは当然だが、そこは関係局と調整して、これは環境のために使いたいと主張する事のほうが必要だと思う。</p>
議長（長谷川会長）	<p>ここでどういう事を述べるか、何を強調するかについてほかの方からも意見を伺いたい。</p>
矢吹委員	<p>具体的な内容は別にしても、手数料収入にかかる記述を入れたほうが良いと思う。有料化による収入がごみ処理費用のほかにも、環境関連の各種施策に充当されるという事が見えるような形にしたほうが、市民にとっても納得できるものになると思う。</p>
局長	<p>4の「有料化導入に併せて実施すべき施策」の中で、「手数料収入の使途」と「近隣自治体との連携」については、その他の項目と比較してもここで掲げる範疇とは違うのかなとも思うので、新たに5番目の項目で、「その他」という形で整理する事にしたいがどうか。</p>
議長（長谷川会長）	<p>5番を作るという案だが、そうするとこの手数料収入はどう具体的に書くのか。新たな環境施策の展開や各種施策の充実では曖昧さが残るので、委員からはもう少し具体的にという意見が出されていると思うが。何かこれ以外に、別の施策があるという事か。</p>
岡本委員	<p>新たな環境施策に入るのかもしれないが、例えば、捨てる量を減らすのと同時にリサイクルに回すものを増やすための施策という事で、古紙の定期回収業務を拡大する経費や、現在の集団資源回収の助成金をここから充てるようにすれば判りやすいのではないか。あるいはリサイクルプラザの運営など、リサイクルの充実収入を使うほうが有効ではないかと思う。</p>
議長（長谷川会長）	<p>以前の審議会でも説明があったが、既に事業系の紙ごみはリサイクルに回るシステムがあり、残っているのは家庭から出される紙ごみという事になり、リサイクルの必要性が増している。したがって、手数料の使途をもう少し強調して、紙ごみのリサイクルを</p>

<p>深野委員</p>	<p>充実させるという事をはっきりさせることが重要と考えるがどうか。</p> <p>まさにそのとおりで、私も紙ごみのリサイクルを充実させる事を言いたかった。それともうひとつ、これからの時代を担う子供たちの環境学習にも力を入れて、意識の高い人を育てるというところにも回せば、納得できるかと思う。</p>
<p>鈴木昇委員</p>	<p>皆さんの意見に同意する。ここで重点的に掲げるべき事は、ごみの発生抑制とリサイクルの推進策で、もう少し具体的に記載してほしい。</p> <p>それから、「(6) 学ぶ機会づくり」。やはり教育が大事と思うので、子供たちだけでなく大人に対しても、この機会を捉えてどう学習してもらえるかという事だろうと思う。</p> <p>それと最後に、「(3) 不法投棄・不適正排出対策」。これは新しく出てくるであろうコストだと思うので、何らかの予算措置は講じておかなければならないのかなと感じる。以上三点について、よろしくお願ひしたい。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>紙のリサイクルと環境学習の必要性と不法投棄についての意見だが、有料化に伴って不法投棄が出てくる可能性があるため、それを抑制するために十分な監視をするという事も重要なので、その点も含めてまとめる事としたい。</p> <p>続いて資料2、仙台市が予定している市民意見募集用の説明資料について、事務局から説明を。</p>
<p>総務課長</p>	<p>（資料2について説明）</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>ただ今の資料2については市のほうで出すものなので、各委員から何か意見があれば後日市に連絡していただきたい。</p> <p>それでは、議事の(1)については以上として、「(2) 仙台市産業廃棄物処理指導方針（案）について」は、時間が無い場合は次回以降に回す予定だったので、これは次回審議する事にする。最後に「(3) その他」について、事務局から何かあるか。</p>
<p>総務課長</p>	<p>次回の審議会の日程について、有料化に関しては今後市民意見募集を予定しているので、その結果をとりまとめた後の開催を考えていたが、次回審議する事となった産業廃棄物処理指導方針（案）の審議の関係もあり、具体的な日程は会長・副会長と相談のうえ、別途連絡させていただきたい。</p>
<p>議長（長谷川会長）</p>	<p>以上で、今日の審議会は終了とする（閉会宣言）。</p> <p>議事録署名人</p> <p>仙台市廃棄物対策審議会 会長</p> <p>仙台市廃棄物対策審議会 委員</p>